EUROPEAN PATENT OFFICE

Patent Abstracts of Japan

PUBLICATION NUMBER

04077600

PUBLICATION DATE

11-03-92

APPLICATION DATE

17-07-90

APPLICATION NUMBER

02187165

APPLICANT: SAGAMI CHEM RES CENTER;

INVENTOR:

KONDO SEI;

INT.CL.

C11B 1/10 // C07C 67/58 C07C 69/587

TITLE

METHOD FOR OBTAINING LIPID COMPOSITION CONTAINING DOCOSAHEXAENOIC

ACID IN HIGH CONTENT

ABSTRACT :

PURPOSE: To obtain triglyceride, ethyl ester, etc., having high DHA content by extracting

a lipid ingredient from eye socket fat tissue of fishes and treating the separated eye socket

fat of fishes.

CONSTITUTION: Oil is collected from eye socket fat tissue of fishes in as short time as

possible and at low temperature to provide the lipid ingredient.

COPYRIGHT: (C)1992,JPO&Japio

	· i							
							g* 0	
							*-	
	,		, i		. 200			
	,							
			1.					
				•				
	•	,						
								•
	e ge		2.					
			•					
					40			
	*							
			•		9			
			•					
						*		
								1.2
						•		
							,	
	(*)							
					2.0			
			•					
	*/							•
								i
			•				÷.	
			. 7				•	
				•				
			•				1,	
							C ₄₀	
							*	

⑩日本国特許庁(JP)

① 特許出願公開

⑫ 公 開 特 許 公 報 (A) 平4-77600

®Int. Cl. 5

識別記号

庁内整理番号

❸公開 平成4年(1992)3月11日

C 11 B 69/587

2115-4H

8018-4H

審査請求 未請求 請求項の数 1 (全3頁)

60発明の名称:

ドコサヘキサエン酸高含有脂質組成物の取得法

②)特 頤 平2-187165

29出 願 平2(1990)7月17日

@発 明 矢

澤

粮

神奈川県相模原市鵜野森571 グリーンハイッD 1-501

明 @発

渡 部 和:郎

神奈川県相模原市南台1-9-2

@発 明 @発 明 者 石川 千 夏 子 東京都渋谷区千駄ケ谷3-13-8 ソフトタウン原宿502 神奈川県大和市中央林間5-16-4

近 聖 ⑦出 顖 財団法人相模中央化学

東京都千代田区丸の内1丁目11番1号

研究所

9月 糸田

1. 発明の名称

ドコサヘキサエン酸高含有脂質組成物の取得

- 2. 特許請求の範囲
 - (1) 魚類眼窩脂肪組織から脂質成分を抽出する ことからなる、ドコサヘキサエン酸高含有脂 質組成物の取得法。
- 3. 発明の詳細な説明

(産業上の利用分野)

本発明は新規なドコサヘキサエン酸高含有脂 質組成物の取得法に関する。

(従来の技術)

今日、いわゆる典型的成人病の一種である動 **新硬化性疾患、血栓性疾患、高脂血症、肥清、** 高血圧、糖尿病等は、いずれも正常な脂質代謝 の乱れがその一因を成しているものであるが、 これらの治療・予防薬としては、いくつかが提 案されている。しかしながら、それらはどれも

薬理効果及び副作用等の点で必ずしも十分満足 し得るものとは言い難く、より安全で効果的な 薬剤への希求が一段と高まっている。

.最近、安全性が高い事からドコサヘキサエン 敵(以下DHAという)が注目されている が、 DHAを高度に含有した食品、医薬品、飼料等 はいまだに充分に利用されているとはいいがた い。また近年、研究進展に伴い、DHAは上記 の薬理効果の他にDHA生合成能の低い乳児期 に重要である事、神経細胞や網膜にはDHAが 多く、これらに関与する細胞機能維持に深く関 わっている事、脳内に多く記憶能力の改善やポ ケ予防の可能性を有する事、さらに、高度不飽 和脂肪酸の中では最も制ガン作用が強力な事等 がつぎつきと明らかにされ、ますますDHAの 重要性が認識されつつある。しかしから、より 高度にDHAを含有する脂質組成物の開発は充 分とはいいがたい。 例えば、イワシ、オキア ミ等の魚体や海産物より煮取法等にて採取した 魚油より D H A を抽出する試みもなされており、

いくつかの提案がされているが、元々の油脂中の D H A 含量が 7 ~ 1 0 %と低いため、純度を高めるためには多段階の緊鍵な工程を必要とし、その分、収率が悪く、 D H A の劣化を招きやすく、ひいては製造・精製コストが高くなり、実用化のさまたげとなっている。

(発明が解決しようとする課題)

本発明の目的は、より効果的なかつ安全性の高い新規なDHA高含有脂質組成物を、大量かつ安価に得ることができる取得法を提供することにある。

(課題を解決するための手段)

本発明者らは、有用なDHA高含有脂質組成物につき、鋭意研究の結果、無類の腹窩脂肪につき、次のような知見を得た。即ち、①無類の移棄、組織、器官の脂肪酸を分析した結果、腹窩脂肪では最もDHA含量が高く、総脂肪酸に対するDHAの割合は25%~43%に及ぶこと、且つ、脂肪中に含有される有害脂肪酸といわれるドコセン酸をほとんど含まないこと、

物や重合物が生じないように、可及的短時間内 で且つ低温下に於て採油し、保管時にも低温で 且つ酸素を遮断するようにして変質を極力防止 することが望ましい。これらは公知の方法(特 開昭 5 7 - 1 6 9 4 1 6)に従って処理することができる。なお、本発明において、DHAの 合有脂質組成物とは、DHA、DHAグリセライド、DHAの誘導体の単品又は混合したもの を含う。

本発明の製造法により製造されるDHA高合有脂質組成物は、ヒトはもちろん、家畜、ベット、養殖魚などの動物の疾病の予防、治療や栄養剤に利用されるだけではなく、食品や食品添加物として、またはニフトリに投与することにより低コレストロール・高DHA卵の生産に使用するなど軽広い応用が可能である。

②眼窩脂肪の95%以上が中性脂肪の化学形態であり、溶剤分別により容易にDHA高含有脂質組成物が得られること、③通常、眼窩脂肪は、いわゆるカマの部分にあり、マグロのような大型魚にあってさえ、廃棄又は、少量使用程度にあり、充分に有効利用されておらず、かつ本脂肪は容易に摘出することが可能である為、大量かつ安価に入手できることである。

本発明は以上の知見に基づいて完成されたもので、無類の服窩脂肪を処理することにより、 有用なDHA高含有脂質組成物を、大量かつ安 価に取得する方法に関するものである。

本発明で使用できる眼窩脂肪はDHA含量さえ高いものであれば特に魚種などを限定するものではないが、通常はマグロやカツオ等の大型魚が摘出が容易かつDHA含量が高いため用いられる。

本発明の実施に当っては、上記魚類眼窩脂肪 を摘出により集め、煮取法、溶剤抽出法、消化 法等を用いて採油することができるが、過酸化

実施例 1

クロマグロの眼窩脂肪 1 0 kgから煮取法により得た粗脂質組成物よりヘキサン 2 0 ℓを用いて脂質を抽出して、混入しているタンパクやその他のきょう雑物を除いた。

得られた9.5 kgの脂質組成物をガスクロマトグラフィーにてその脂肪酸含量を測定したところ、DHA24%、エイコサベンタエン酸6%、オレイン酸22%、ステアリン酸3%、パルミトレイン酸6%、パルミチン数15%、その他の脂肪酸24%で構成されていた。

さらにウィンタリングにより D H A 含量を高めた脂質組成物を 6 . 5 kg 得、同様にその脂肪 酸含量を測定したところ、 D H A 3 7 %、エイコサベンタエン酸 1 0 %、オレイン酸 1 8 %、ステアリン酸 1 %、パルミトレイン酸 2 %、パルミチン酸 7 %、その他の脂肪酸 2 5 %で構成されており、D H A 高含有脂質組成物が容易に得られた。

実施例 2

メバチマグロの眼窩脂肪 5 kgから煮取法により得た粗脂質組成物 4. 7 kgをナトリウムエチラートでエチルエステル化し、このようにして得た脂肪酸エチルエステルを、ガスクロマトグラフィーにてその脂肪酸分析を行ったところ、DHA31%、エイコサペンタエン酸5%、オレイン酸17%、ステアリン酸3%、パルミトレイン酸6%、パルミチン酸12%、その他の脂肪酸25%であった。

このように、DHAを主成分とする脂肪酸エチルエステルが容易に得られた。

実施例 3

カツオの眼窩脂肪 2. 5 kgから煮収法により得た粗脂質組成物 1. 9 kgをナトリウムエチラートでエチルエステル化し、このようにして得た脂肪酸エチルエステルを、ガスクロマトグラフィーにてその脂肪酸分析を行ったところ、DHA43%、エイコサベンタエン酸 10%、オレイン酸 9%、ステアリン酸 3%、パルミトレイン酸 3%、バルミチン酸 13%、その他の脂肪酸 19%であった。

このように、DHAを主成分とする脂肪酸エ チルエステルが容易に得られた。

(発明の効果)

これまで廃棄していた低付加価値の無類の服 窩脂肪を処理することにより、DHA高含有の トリグリセライド、エチルエステルやその他の DHA誘導体を容易に得ることができ、DHA 高含有脂質組成物を製造することが可能となっ たことから、これらを組成物とする高付加価値 の食品・医薬品・飼料等の大量かつ安価な供給 が可能となる事が示された。

特許出願人

財団法人 相模中央化学研究所